



卒業に寄せて 校長 村上 英治

卒業式の日になると毎年思うことがあります。私は校長という立場なので、ステージの上に入り校長として告辞を読み、皆さんの卒業と前途を祝します。私自身としては心を込めて原稿を書き、皆さんへの祝福の気持ちは誰にも負けないという思いで壇上から語りかけているつもりです。

それでも、式後、校長室から見えるエントランス前の光景に打ちのめされるのです。卒業証書やアルバムを抱えた生徒たちが、嬉しそうに楽しそうにポーズをとっている姿。その向こうにはスマホを手に持ち「もっと笑って」と声をかける担任がいます。先生たちから卒業アルバムにメッセージを書いてもらっている人。部活の顧問の先生と仲間たちとはしゃぎながら写真を撮ってもらっている人。先生の胸で泣いている生徒もいます。

この瞬間私はいつも「卒業式というのはまさに生徒と先生(担任、顧問)のためにあるのだな」とさわやかな敗北感を味わうのです。それは「言わずもがな」のことなのですが、ともに歩んできた3年間の喜怒哀楽に彩られた日々を、いとおむように別れの時間を享受しているシーンにいつも胸打たれます。

たくさんの思い出はこれからの人生を豊かなものにしてくれるはずです。そして、時として苦難を乗り越える力になってくれるかもしれません。

「翔洋の青春」が、これからの人生をより素晴らしいものにするための「パワーの源泉」となってくれたら、教師としてこれ以上の喜びはありません。



中等部3学年主任 清野 雄大

中等部3年生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます！

入学してすぐ、右も左もわからないドキドキの中行った「合宿オリエンテーション in 御殿場(中1)」、雨の中マナスイオンを全身で浴び、動物に癒しをもらった「白糸の滝・まかいの牧場(中2遠足)」、3年間の集大成として実行委員を中心に生徒が主体となり作り上げた「広島・京都・奈良の中3修学旅行」、みんなと共に歩むことができた3年間の昨日のことに思い出されます。時の流れというものは、本当にあっという間です。

元気がある中にも、礼儀があり、どんな学校行事や学年行事にも、全力で取り組むことができた3年間でした。仲間と協力しあうことができ、闘志の中にも落ち着きがある学年でした。他者を思いやることができる人は、他者からも思いやられます。ここ翔洋中等部で、築き上げてきた仲間との時間は、これからの人生の基盤となるはず。「挨拶・礼儀・身だしなみ・美しい環境づくり・応援」翔洋の生活五か条を、新たなステージでも存分に体現し、それぞれの道での一層の活躍を期待しています！

中等部の教員一同、今後の皆さんの更なる飛躍を応援しています！

卒業おめでとう！
そして「ありがとう！」



高校3学年主任 皆川 勇太

高校3年生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

みなさんが入学したとき、私は「社会に出たときに『幸せな人』になってほしい」、「周りから大切にされる人になってほしい」ということを伝えました。そして、卒業するときに「周りから大切にされる人」であるために、「17の成長目標 SDGs」を立てました。各学年で設定した目標をひとつひとつ達成し、「後輩から惜しまれて卒業する」ことができたなら嬉しく思います。

みなさんが進む未来は、これまで以上に、柔軟な対応力や実行力が問われると思います。知識や公式だけでは解くことができない問題にも出会うでしょう。この3年間、頭にも心にも体にも汗をかいて、かけがえのない二度と戻ってこない青春時代を駆け抜けてきたみなさんならきっと乗り越えられると思います。

卒業生486名がこの先、周りの人たちから「支えてもらえる人」、「大切にされる人」であり、「幸せな人生」を送っていくことを心から願っています。

祝 卒業



春 まとめ

高3 献血・奉仕作業



日本赤十字社の献血カーに来ていただき、卒業試験を終えた高校3年生の生徒が、献血を行いました。また、3年間生活した環境に感謝の気持ちを込めて「清掃作業」を行いました。



高2 シズクリプロジェクト Future



「Future」とは、実社会で活躍する静岡の職業人から学びながら、10年後の自分の姿を思い描く探究活動です。多くの企業の方々をお招きし、インタビューを行いました。生徒たちは、真剣な眼差しで活動に取り組んでいました。



高3 テーブルマナー講座



日本平ホテルにてテーブルマナー講座を行いました。テーブルマナーの歴史や作法を、クイズを交えながら教えていただきました。食事をする際の「型」と「心」を学び、「大人の嗜み方」を経験することで、社会に出ていく準備をしました。



高1 職業体験会



株式会社ジンジブご協力の下、多くの企業の方々から、様々な職業に関する体験・説明を行っていただきました。普段あまり関わる機会のない職業を体験した生徒も多く、とても盛り上がっていました。



美

プラモデルを作ってみよう!

『プラモザル』という初心者向けのプラモデルを使い、プラモデル用の道具の使い方を学んだり、組み立てる楽しさを体験したりしました。ニッパーや接着剤など、初めて使う道具に苦戦しながらも真剣に取り組み、楽しみながらプラモデルを完成させることができました。



中等部 百人一首大会

1月から国語の授業でクラス予選が行われ、各クラス代表の4名が集まり、決勝を行いました。学年ごとに対戦を行い、取った枚数が多かった人が優勝となります。総勢60名の生徒が、白熱した勝負を繰り広げました。今年の優勝者は、3年長橋黎旺さん、2年諸田莉星さん、1年石田萌夏さんでした。緊張感漲る戦いが繰り広げられ、大きな歓声が上がっていました。古典作品への関心を深めることができました。



社

パラフットボールを体験しよう!

障がい者スポーツを学ぶ取り組みとして、視覚障がい者のブラインドサッカー、切断障がい者のアンプティサッカーを体験しました。「インクルーシブ」をテーマとし、男女や年齢、経験の有無問わず、みんなが笑顔で楽しむことを重視しました。



『翔洋必勝青ダルマ』贈呈式

『翔洋必勝青ダルマ』の贈呈式が行われ、望月様(本校OB)、山根様より、見崎航平高校生徒会長、糠谷虎徹中等部生徒会長に贈呈されました。贈呈式が行われるのは6年目となります。この青ダルマには全国大会出場が決まった部活動と出場する生徒だけが部活動名と自分の名前を書くことができます。そして、全国大会に出場した中等部、高校の代表生徒によって、修了式で眼入れ式が行われます。



必勝